

2009 Vol. 8 THE BSSC JOURNAL 通巻8号 2009年6月19日発行



びわこ成蹊スポーツ大学新聞 Biwako Seikei Sport College

THE BSSC JOURNAL

びわこ成蹊スポーツ大学の「今」を伝える © びわこ成蹊スポーツ大学新聞編集部 発行=びわこ成蹊スポーツ大学メディア研究会 〒520-0503 大津市北比良1204番地 http://www.bsscjournal.net/



水球女子の4人が世界へ羽ばたく。前列左から木村、津守、瀧川のユニバー代表と世界ジュニア代表の本田。

水球女子の木村、瀧川、津守の3人が開学初のユニバー代表に

「想像でしかなかった世界を肌で味わい、その現実のナマの姿をこの目でみてみたい。」水球女子の代表に選ばれた木村陽子(競技スポーツ学科4年)は、初の海外遠征に胸をときめかせる。昨春からロス五輪(84年)出場を経験を持つ若吉浩二教授(競技スポーツ学科)が女子水球の強化に取り組み、全日本女子、日本学生選手権で準優勝。ユニバー代表を射止めた木村のほか、3期生の津守、1年生瀧川も代表メンバー入り。世界ジュニア代表には本田が選ばれた。若吉監督は、男子顔負けである。プールのスタート台に長いゴムチューブを取り付け、片方は腰につけて泳ぐ。一定の距離に達するとチューブは伸び切るが、そこから先は筋力強化の地獄のようなトレーニングになる。「うちの選手たちを世界レベルに

「想像でしかなかった世界を肌で味わい、その現実のナマの姿をこの目でみてみたい。」水球女子の代表に選ばれた木村陽子(競技スポーツ学科4年)は、初の海外遠征に胸をときめかせる。昨春からロス五輪(84年)出場を経験を持つ若吉浩二教授(競技スポーツ学科)が女子水球の強化に取り組み、全日本女子、日本学生選手権で準優勝。ユニバー代表を射止めた木村のほか、3期生の津守、1年生瀧川も代表メンバー入り。世界ジュニア代表には本田が選ばれた。若吉監督は、男子顔負けである。プールのスタート台に長いゴムチューブを取り付け、片方は腰につけて泳ぐ。一定の距離に達するとチューブは伸び切るが、そこから先は筋力強化の地獄のようなトレーニングになる。「うちの選手たちを世界レベルに

7月に東欧のセルビアで開かれる学生スポーツの祭典ユニバーシアード大会にびわスポの精鋭3選手が選ばれた。建学7年目のびわスポからユニバーシアード代表が誕生するのは初めての快挙。琵琶湖の若アユが勢いよく世界へ飛躍する。

世界へ羽ばたけ



びわスポから五輪代表へ。若吉監督の指導にも熱がこもる。

7月1日に開幕するが、木村は「Wリーグでもユニバーでも自分がチームの中心になるようなプレーを心がける。競技だけでなく、異国の文化や生活にも触れて国際感覚も身につけたい」と意欲をみせている。

「日本と世界の差を彼女たちがどう感じるか。体格やパワーでは確かに劣るだろうが、俊敏性や機動力でどこまで通じるプレーができるか。そういう経験を積みながらユニバーをしっかり体験してきてほしい。」若吉監督が木村らにかかる熱い思いである。木村らはユニバー本番前にオーストラリアのアデレード、オークランドで行われるアジアオセアニアワールドリーグ予選を戦い、勝てばロシアでのスーパーファイナルに出場できる。ユニバーはその後の

「想像でしかなかった世界を肌で味わい、その現実のナマの姿をこの目でみてみたい。」水球女子の代表に選ばれた木村陽子(競技スポーツ学科4年)は、初の海外遠征に胸をときめかせる。昨春からロス五輪(84年)出場を経験を持つ若吉浩二教授(競技スポーツ学科)が女子水球の強化に取り組み、全日本女子、日本学生選手権で準優勝。ユニバー代表を射止めた木村のほか、3期生の津守、1年生瀧川も代表メンバー入り。世界ジュニア代表には本田が選ばれた。若吉監督は、男子顔負けである。プールのスタート台に長いゴムチューブを取り付け、片方は腰につけて泳ぐ。一定の距離に達するとチューブは伸び切るが、そこから先は筋力強化の地獄のようなトレーニングになる。「うちの選手たちを世界レベルに

はつらつフレッシュマン

2009年度の入学式が4月3日、358人の新入生を迎えて大津市の琵琶湖ホールで開かれた。飯田校長の入学許可、辞許のあと新入生を代表して瀧健太君が入学の喜びを胸に宣誓した。滋賀県の澤田史朗副知事の祝辞に続き、大阪成蹊学園の中明夫理事長やびわこ成蹊スポーツ大学・教育振興会の松田裕之会長があいさつしたあと、大阪成蹊学園後援会の寺家照二会長から新入生に記念品が贈呈された。このあと、在学生の08年度表彰が行われ、学長賞に北京五輪シン



2009年度の入学式が4月3日、358人の新入生を迎えて大津市の琵琶湖ホールで開かれた。

サッカーのびわスポイレブンで守備の要、DF内野貴志(3年)がユニバーシアードサッカー男子代表候補に選ばれた。本学では水球女子の木村陽子らに続く快挙になった。

サッカーの内野貴志もユニバー代表候補に

サッカークラブのびわスポイレブンで守備の要、DF内野貴志(3年)がユニバーシアードサッカー男子代表候補に選ばれた。本学では水球女子の木村陽子らに続く快挙になった。

336人の新入生の皆さん、22名の3年次編入の皆さん、皆さんの長年にわたる努力がここに実を結び、びわこ成蹊スポーツ大学に入学されたことを心からお祝い申し上げます。おめでとう。本学の特徴は、大学の名称である「びわこ」「成蹊」「スポーツ」の3つのキーワードで説明することができます。琵琶湖のほとりに位置する大学は、都会の大学ではまねることができない自然を生かしたキャンパスであり、空気も清々しく新鮮で、勉強も運動の疲れを癒し、明日への活力を養ってくれます。2つ目の成蹊は、本学の母体である学校法人大阪成蹊学園が掲げる建学精神であります。そして3つ目は「スポーツ」で、スポーツ大学という名称は、わが国において最初で本学唯一のもので、この名称に込められた理念は、「わが国の閉鎖的な体育思考から脱皮した、国際的に通用する新しいスポーツ文化を創造する」ということにあります。本学ではこうした理念のもと、人々のスポーツ要求、健康要求を開発・支援することのできる豊かな教養と高度な専門性を有する人材の育成を目的にしています。大学生活を送るにあたって、3つの目標に向けて努力してほしいと思います。1つ目は自分自身を磨き、高め、成長させ、年齢に相応しい魅力的な人間になることです。2つ目の目標は、自分と他者の「愛」のある関係をつくりあげることです。これは正直、誠意、共感、思いやりなどに基いた「良い人間関係」のことです。皆さんはスポーツを通してチームワークやリーダーシップ、相互理解など人間関係と深くかかわる機会を体験してきました。大学では同じ部員やクラスの仲間、他大

336人の新入生の皆さん、22名の3年次編入の皆さん、皆さんの長年にわたる努力がここに実を結び、びわこ成蹊スポーツ大学に入学されたことを心からお祝い申し上げます。おめでとう。本学の特徴は、大学の名称である「びわこ」「成蹊」「スポーツ」の3つのキーワードで説明することができます。琵琶湖のほとりに位置する大学は、都会の大学ではまねることができない自然を生かしたキャンパスであり、空気も清々しく新鮮で、勉強も運動の疲れを癒し、明日への活力を養ってくれます。2つ目の成蹊は、本学の母体である学校法人大阪成蹊学園が掲げる建学精神であります。そして3つ目は「スポーツ」で、スポーツ大学という名称は、わが国において最初で本学唯一のもので、この名称に込められた理念は、「わが国の閉鎖的な体育思考から脱皮した、国際的に通用する新しいスポーツ文化を創造する」ということにあります。本学ではこうした理念のもと、人々のスポーツ要求、健康要求を開発・支援することのできる豊かな教養と高度な専門性を有する人材の育成を目的にしています。大学生活を送るにあたって、3つの目標に向けて努力してほしいと思います。1つ目は自分自身を磨き、高め、成長させ、年齢に相応しい魅力的な人間になることです。2つ目の目標は、自分と他者の「愛」のある関係をつくりあげることです。これは正直、誠意、共感、思いやりなどに基いた「良い人間関係」のことです。皆さんはスポーツを通してチームワークやリーダーシップ、相互理解など人間関係と深くかかわる機会を体験してきました。大学では同じ部員やクラスの仲間、他大

学長式辞の要旨

滋賀県の地域全体を第2のキャンパスとして、皆さんの社会貢献の実習の場としてぜひ活用してください。地域社会をよくするために皆さんの若い力を存分に発揮してほしいものです。最後に二つ約束していただきます。一つは、本学は6年前の開学時に日本で初めて「タバコのないキャンパスづくり」を宣言しました。学生、教職員もキャンパス内では禁煙というルールを定め、実施しています。全国の大学からも注目されていますから協力ください。二つ目は人に会ったならば「あいさつ」してください。人と会ったら相手からこたえが返ってくるような心もちょうつたあいさつをしてください。3月の卒業式で卒業生代表の謝辞にも本学では心のこもったあいさつが続けられていることは大きな誇りであり、伝統として今後も大切にしていきたいです。皆さんも本学の学生であることに誇りと自信、そして勇気を持って大学生活を生き生きと有意義に過ごされることを祈っています。

滋賀県の地域全体を第2のキャンパスとして、皆さんの社会貢献の実習の場としてぜひ活用してください。地域社会をよくするために皆さんの若い力を存分に発揮してほしいものです。最後に二つ約束していただきます。一つは、本学は6年前の開学時に日本で初めて「タバコのないキャンパスづくり」を宣言しました。学生、教職員もキャンパス内では禁煙というルールを定め、実施しています。全国の大学からも注目されていますから協力ください。二つ目は人に会ったならば「あいさつ」してください。人と会ったら相手からこたえが返ってくるような心もちょうつたあいさつをしてください。3月の卒業式で卒業生代表の謝辞にも本学では心のこもったあいさつが続けられていることは大きな誇りであり、伝統として今後も大切にしていきたいです。皆さんも本学の学生であることに誇りと自信、そして勇気を持って大学生活を生き生きと有意義に過ごされることを祈っています。

09年4月3日 学長 飯田 隆



クラス対抗で競った大縄跳び。早くもみんなの心はひとつ。

目標は 大学日本

望月新監督の ニューびわスポ

関西学生サッカーリーグは、1シーズンの通算成績でVを争う通年制に変わって2年目を迎えた。びわスポはあと1歩及ぼせず昨季2位に終わり、今年は「V奪取」を目標に掲げる。4月11日に開幕したリーグは7節を終えて3勝2敗2分けの5位。まずまずの滑り出しをみせている。

今季の「CHENGE」は、なでしこジャパンで経験豊富な望月コーチが正式な監督に就任したことだ。昨年4月に本学に就任した望月監督はコーチとしてベ

ンチに入った。リーグ2位で大学選手権に初出場を果たすなど松田監督を支えた1年目から指揮官になった今季はプレシーズンからチームの隅々まで目を光らせている。「選手をじっくりみながらチームづくりに取り組んでいく。全国で通用する実力の備えた最強のチームを目指すが、3年ぐらいはかかる」とニュー指揮官は、長期の改造計画を立てている。

最強チームづくりの構想は、リーグ戦の端々に垣間見える。メンバーを固定せず1年生もどんどん投入する。ポジションも頻繁に入れ替える。昨年まで左サイドバックが多かった山田はボランチになったが、積極的な攻撃参加し大産大戦でハットトリックをあげて5-3で快勝の原動力になった。得点能力の高いFW平野もサイドバックやサイドハーフもこなすオールラウンドの能力の高さをみせてゴールを量産。1年生の活躍も目立ち、森下が大戦で決勝ゴールを決めるなど望月監督のチームづくりは順調に進んでいる。「パスやシュートなど肝心な場面ミスが多い。個人の能力を高めることも大事だが、まず基本のプレーがしっかりできるチームにした

い」と望月監督は厳しい目を向ける。指揮官が指摘するよりに、リーグでは桃山大に競り負け、関大戦はパスミスなどから攻撃の歯車がかみ合わずに0-2で敗れた。

7月の総理大臣杯出場をかけた関西選手権も関西国際を下したが、平野や内野の攻撃の主力を欠いた2回戦の立命には、1-2で

敗れ、今年も本大会出場を逃した。望月監督は「リーグ前半よりも大事なものは後半。最終目標の大学選手権に向けてどこまで実力を伸ばしてくれるか。普段から自主トレの大切さを口やかましく言ってるが、チームの浮沈は選手みんなの努力にかかっている」と期待をかけている。

関西学生サッカーリーグ(6月13日まで)

	成績	得点者
4月11日	びわスポ1-1大体大	原ノ園
4月18日	びわスポ5-3大産大	山田3、平野2
4月20日	びわスポ0-1桃山大	
5月2日	びわスポ3-2大院大	原ノ園、内野、平野
5月5日	びわスポ2-2立命	原ノ園、内野
5月9日	びわスポ1-0大教大	森下
5月16日	びわスポ0-2関大	

望月監督が指揮を執るびわスポ。リーグ序盤はまずまずの滑り出し。



大躍進



創部以来の快挙。京都学生大会で優勝した柔道男子。

村田監督の熱烈指導に感涙して 柔道部が念願のV

柔道部に歴史の1頁が刻まれた。5月3日、京産大第2体育館で争われた京都学生柔道大会の男子「ゼロからのチームも

やれば、できる」ということをみんなに知ってもらったのがなによりも収穫だった。就任から3年目を迎えた柔道部の村田正夫監督の言葉がはずむ。現役時代、世界選手権3位の実績を誇りイタリアナショナルチームの指導など国際舞台で活躍してきた村田監督にとって、びわスポの柔道指導は自らの再出発でもあった。選手集めに奔走し、自ら黒帯を締めて指導に打ち込む村田監督の姿こそが本になった。学生大会の男子決勝は、

あるわけではない。びわスポナインだって負けてはいない。関西ソフトボールリーグへの参戦5年目を迎えた今春、ついに初の西日本大会出場権を掴み取った。4月18日・19日に行われた1次リーグで勝ち上がったナインは、西日本大会をかけて4校で争われた2次リーグ(4月29日~5月3日)で2位となり、見事出場権を獲得するとともに秋季の1部リーグ昇格を決めた。エース石崎(4年)が盗塁賞で、藤井(2年)は首位打者を獲得するプレーで援護する。つないで、つないで1点を大切にする攻撃で得点を重ねた。派手さはない。身体



猛打爆発。1部へ昇格した女子ソフト。

ソフト部

るわけでも、スラッガーが何人もいるわけではない。どちらかというと小柄な選手が目立つから、なんとも「かわいらしい」のが印象的だ。小麦色の肌は練習の証、大きくはつきりした挨拶は自信とやる気の表れ、それが、つなぐ攻撃を生み出すチームの絆を強くする。

部員は17名。8月7日から淡路市で開催される西日本大会は1・2年生が主体となって戦っていく。不安はあるが、それでも「精一杯のプレーをしたい」。若いチームだからこそ、挑戦することが楽しみなのだろう。間違いなくこの大会で彼女たちは大きな変化を遂げる。

(競技スポーツ学科4年 長澤いずみ)

部活紹介

☆サッカー部

新体制としてスタートした今年も、チームスローガンを「FOOTBALLERS HIGH」とし、念願の「日本一」を目指します。2000人以上の部員一人ひとりが己の限界にチャレンジし、同じ方向を向いて進んでいけば、必ず「日本一」は見えてくると思います。今年のサッカー部にごご期待!!

☆陸上部

僕たちは5月に行われる関西インカレで、男子は一部昇格、女子は総合優勝を目指して日々練習に取り組んでいます。日々の練習を当り部員として、学生として成長していける様な部を部員全員で作っていきたくと思っています!!

☆男子バレー部

私たちは、1.強いチーム 2.全員バレー 3.爽やかなバレー 4.考えるバレーの強全乗者を言葉にしています。昨年の秋リーグで昇格を逃した悔しさをバネに、今年春リーグで2部昇格、秋リーグには2部上位進出を目標に練習に励んでいます。今年こそ男子バレーボール部がびわこに朗報をもたらしたいと思っています。

☆女子バレー部

4月12日から春季リーグ戦が開幕します。前回の秋季リーグでは、2部6位という結果で終わりました。今季は2部2位以内、1部昇格を目指し全力で頑張ります。びわこでのホームゲームもありませんので、ぜひ応援よろしくお願います。

☆男子バスケットボール部

我々の今シーズンの目標は「3部Aリーグ全勝優勝・2部昇格」です。そのために、我々に必要な条件として「勝ちへのこだわり」「コミュニケーション」があげられます。日々の練習からチーム目標を強く意識した高いレベルの取り組みをしていきたいと考えています。リーグ戦までの時間を一分一秒たりとも無駄にせず、本気でバスケットボールにかかれます。応援よろしくお願います。

☆女子バスケットボール部

去年2部9位という結果に終わり、悔しい思いをしました。今年は去年の悔しさをバネに、1部昇格という目標に向かつて、日々頑張っています。私たちは本気でバスケットボールを追いかけたいです。バスケットボールが好きなのはほとんど体育館に足を運んで、一緒に頑張ります。

☆硬式野球部

硬式野球部は、京滋リーグの一部に所属しています。4年9名、3年52名、2年54名、計115名で、「リーグ優勝そして神宮へ」を合言葉に日々厳しい練習に耐え頑張っています。グラウンドのない中、1期生が探してくれた企業のグラウンドを借り、様々な人への感謝の気持ちをもちながら目標に向かって頑張っています。

☆バドミントン部

指導者がいない現状をマイナスと捉えるのではなく、チーム全員がチームがよくなるために考え、行動を起こすことで、勝てるチームだけでなく人間としての成長もできる部にしていきます。

☆スキー部

バンクーバー五輪の開催を来年に控え、ウインタースポーツの日本選手団の活躍が目立ちます。スキー部は少人数ではありますが、学生としてスポーツを続けることの難しさや楽しさを体験できる部です。初心者でも歓迎します。一緒にやりましょう!!



飛躍した二本柱

公式野球部が京滋リーグで創部以来最高成績の2位に躍進した。これまで4位が最高で2部との入れ替え戦を争うというどん底期もあったが、目標に掲げる大学日本一を争う神宮大会出場まであと一歩のところまでたどり着いた。

今季の躍進の陰には、2人の投手の存在が大きかった。3年生コンビの竹中大樹、上田真也の2本柱である。リーグ戦は初戦が竹中、大事な2試合目は上田が先発するローテーションで長丁場を戦ったが、変則サイドスローの竹中は186cmの長身を活かした切れのある直球、スライダーなど多彩な変化球でコーナーを丁寧に突く「うまさ」で好投。上田は得意のカブと直球を織り交ぜて緩急自在の投球で安定した投球をみせた。開幕から連勝した二人も最大のライバルで強豪、佛教大では崩れて敗退。優勝争いから大きく後退した。「優勝したい」「佛教大を倒したい」。この敗戦から得た教訓は二人に共通するが、2位という最高成績を残したからこそ、その難しさを肌で感じ取り、悔しさをばねに新たな挑戦を誓う。竹中は無駄な四球を出さない。上田は球の切れに磨きをかけた。9月の秋季リーグにかける二人に春季の巻き返しなど抱負を聞いてみた。「まずはチームが優勝すること。もっと勝てる投手になるために、ミスのもとに失点しない投球を心がけたい」と上田。



京滋大学リーグで創部初の2位に躍進。チームを牽引したエース竹中の力投。



優勝をかけた仏大戦はあと一歩及ばずに惜敗(いずれも太陽が丘球場)

竹中は「優勝したい。そして全試合完投して最多勝をとりたい」と力強く語ってくれた。

普段から仲のよい二人は、お互いをライバルとして認め合い、力を高めあってきたが、この二人の向上心から強豪佛教大を倒し、京滋リーグを制覇する日もそう遠くない。投球術に磨きをかける技巧派の二本柱から目が話せない。

(競技スポーツ学科3年 池田和司)

BIWAKO 勢

ニュース

好記録ラッシュの競泳陣

1年生15人が入部した輪のメドレーリレーで銅水泳部・競泳は、創部以来メダルを獲得した宮下純来最多の29選手を抱える一(ホリプロ)を指導し、大世帯になった。北京五た白木孝尚講師(競泳ス

ポーツ学科)が昨秋、監督に就任。低迷していたクラブに活気が出たのと、白木監督を慕った新入生が多数入部した。

「量より質」の密度の濃いグループ練習で泳ぎこんだ選手は、自己ベストを相次いで更新。5月17日に京都・西京極のアカリーナで行われた京都学生選手権で背泳ぎの横江諒一(1年)が100が57秒39の大会新で優勝、200が1分06秒16で制した。また、平泳ぎの石端真和(2年)は4月の関西学生春季大会で自己ベストを出し、6

月のジャパンオープンに横江とともに大舞台に挑んだ。横江や石端の飛躍に刺激されて、部員が半分近い15人(男子8人、女子7人)が日本学生選手権の参加標準記録を突破するなど例年になく充実したシーズンを迎えている。7月末に大阪で開かれる関西学生選手権で1部昇格が大きな目標。

二人でも多くの選手がインカレなど参加標準記録を突破するように力をつけてもらいたい」とトップウォッチを手にした白木監督の指導にも熱



白木監督の好指導でメキメキレベルアップした競泳。

2009 びわこ成蹊スポーツ大学各クラブ春季成績

硬式野球部

京滋大学野球連盟春季リーグ戦 1部
2位 7勝5敗 勝ち点3

びわスポ大	5-3	京都学園大学	○
	2-1	京都学園大学	○
	3-2	花園大学	○
	10-2	花園大学	○
	1-6	仏教大学	●
	0-4	仏教大学	●
	1-2	京都創成大学	●
	9-1	京都創成大学	○
	7-3	京都創成大学	○
	9-5	大谷大学	○
	0-1	大谷大学	●
	3-4	大谷大学	●

ソフトボール部

春季関西学生ソフトボールリーグ(女子) 西日本大会初出場決定

1次リーグ	びわスポ大	13-0	奈良教育・大阪人間科学大	○
		13-0	佛教大学	○
		18-0	京都女子大学	○
2次リーグ	びわスポ大	13-3	奈良教育大学	○
		8-7	大阪体育大学	○
		3-4	四天王寺大学	●
		0-8	関西外国語大学	●
		14-0	大阪府立大学	○

バスケットボール部

男子関西学生バスケットボール選手権大会
2回戦 びわスポ大 61-80 龍谷大 ●

女子全関西女子バスケットボール選手権大会
3回戦 びわスポ大 82-61 大阪成蹊大 ○
4回戦 びわスポ大 27-98 関西外大 ●

バレーボール部

男子関西大学バレーボール連盟 春季リーグ戦 3部

びわスポ大	3-0	大阪経済大学	○
	3-0	兵庫教育大学	○
	3-0	大阪教育大学	○
	3-2	京都大学	○
	3-1	神戸学院大学	○
	中止	京都創成大学	
中止	神戸大学		

女子関西大学バレーボール連盟 春季リーグ戦 2部

1次リーグ	びわスポ大	3-1	園田女子大学	○
		0-3	天理大学	●
		0-3	大阪大谷大学	●
		2-3	佛教大学	●
		3-2	滋賀女子短期大学	○
		2-3	関西外国語大学	○
		3-0	関西外国語大学	○
		0-3	関西外国語大学	○
		中止	滋賀女子短期大学	
		中止	佛教大学	

陸上競技部

関西学生陸上競技対抗選手権大会

男子2部	1位	佐治 祐貴	800m	1:54:53
	1位	細見 勇介	110mH	14.94
女子	1位	北村 祥寛	円盤投	43m22
	1位	的場 遥	棒高跳	3m70

アルティメット部

男子 関西オープン 6位

リーグ戦	びわスポ大	0-12	関西学院大学	●
		8-2	龍谷大学	○
		8-3	The Confidence Boosters	○
上位トーナメント	びわスポ大	1-10	Trigger	●
順位決定戦	びわスポ大	7-6	甲南大学	○
5位決定戦	びわスポ大	2-7	立命館大学	●

ソフトテニス部

男子春季関西学生リーグ 6部A 優勝 5部D昇格

びわスポ大	4-1	奈良教育大	○
	4-1	京都府立大	○
	4-1	京都外国語大	○

女子春季関西学生リーグ 5部C 優勝 5部B昇格

びわスポ大	3-0	神戸女子大学	○
	2-1	奈良女子大学	○
	2-1	神戸学院大学	○

バドミントン部

男子 関西学生春季リーグ5部 1位通過 入れ替え戦出場権獲得

びわスポ大	3-2	滋賀教育大	○
	5-0	大阪芸術大	○
	3-2	花園大学	○
	3-2	桃山大学	○
	3-2	奈良教育大	○
	3-2	奈良教育大	○

女子関西学生春季リーグ4部 2位通過 入れ替え戦出場権獲得

びわスポ大	4-1	大阪産業大学	○
	1-4	大阪国際大学	●
	5-0	和歌山大学	○
	4-1	大阪市立大	○

☆水泳部

文武両道の精神を忘れることなく日々努力する。部員全員で戦い、男女ともに関西1部昇格。(水泳部)

☆柔道部

今、我々は、週に4日の練習と、学生トレーナーの協力を得て週に3日の綿密なメニューを行い、5月の関西学生柔道優勝大会で、女子は団体上位入賞、男子は団体優勝を狙い日々がんばっています。部員一同頑張っていますので応援よろしくお願ひします。

☆女子サッカーサークル

私たちの大半は大学からサッカーを始めた初心者ですが、みんな向上心を持って楽しく活動しています。現在は人数などの関係でフットサルの試合にしか出られていないので、今年度はサッカーの試合ができるよう、部員集めと日々の練習を重ね、活動していきたいと思ひます。

☆ソフトテニス部

私たちは現在男子11人、女子7人の18人で活動しています。週3回の練習ですが、ソフトテニスが好きならメンバーばかりです。春と秋に行われるリーグ戦を中心に1年間を通して様々な試合に出場しています。リーグ戦では男女共に昇格を目指しています。創部はまだ4年目ですが、実力を上げていきます。

☆ビーチバレーボール同好会

昨年度設立したばかりですが、数多くの大会に出場し、この能力を生かしたい成績を残すことができました。今年度も同様に、楽しくじぶんたちの力を十分に発揮できるように活動したいです。またクラブ昇格に向け部員全員で頑張ります。

☆硬式テニス部

現在部員数は男女合わせて24名です。年々部員数が増え、コートは3面しかありませんが、少ない練習時間の中で男女共にリーグ昇格に向けて週6日の練習で汗を流しています。仲間と共に刺激しあい、高めあえる存在を待っています。

☆剣道部

「道」道はじぶんでつくる道は自分でひらく、人のつくったものは、じぶんの道にはならないみつを「目標はインカレ出場!!チームとしても個人としてもまだまだ弱小ですが、部員一人ひとりが努力を惜しまず、どこにも負けない熱い気持ちとチーム力で頑張るぞ!!試合も観にきてください!!

☆フットサル部

昨年は大学選手権ベスト8に終わり、予選を突破することができなかったため、今年度は大学日本一を目標に掲げて、日々練習に励んできたと思ひている。自分たちのフットサルを貫き通したい。

☆ソフトボール部

今年度の目標は「西日本インカレ出場」です。個性豊かなメンバーで日々目標達成のために一生懸命練習に励んでいます。ソフトボール経験は問はず、ソフトボールが大好きという方はぜひ一度グラウンドへ足を運んでみてくださ

☆アルティメット部

目標が夢のままに散ってしまった昨季。部員数が大幅に増える中、今季から顧問が変わる新体制に。変革・勝負の一年に。悲願の学生チャンピオン・日本一を。

